

いずみ野線の加算運賃について

いずみ野線につきましては、1976年に二俣川駅からいずみ野駅まで、1990年にいずみ野駅からいずみ中央駅まで、さらに1999年にいずみ中央駅から湘南台駅まで、3期に分けて開業いたしました。

いずみ野線の建設には多額の設備投資を行ったことから、負担の公平性を図るため、当該区間をご利用のお客様には開業時から加算運賃をいただいております。

お客様には長期間に亘り加算運賃をご負担いただいているところでございますが、2019年度決算時点において、開業時設備投資額、支払利息、配当所要額の回収率は未だ16.4%となっております。(下表参照)

	累 計	2019年度
開業時設備投資額(A)	748億円	—
支払利息、配当所要額の累計額(B)	514億円	9億円
加算運賃収入累計額(C)	160億円	5億円
基本運賃収入からの回収累計額(D)	47億円	1億円
回収率(C+D)/(A+B) × 100	16.4%	—

現在、相鉄ホールディングス株式会社が2010年に策定いたしましたグループビジョン“Vision 100”に基づき、いずみ野線沿線駅前街区やゆめが丘地区の再開発計画を推進しており、相鉄グループ一丸となっていずみ野線の活性化に取り組んでおります。これに併せて、増収や経費削減にも努めておりますが、相互直通事業等の輸送力増強や安全確保、サービス改善等に関する施策についても積極的に推進していく必要があることから、回収には引き続き時間を要するものと考えております。

お客様におかれましては、今しばらく、いずみ野線の加算運賃設定について、ご理解を賜りたいと存じます。

以上

いずみ野線の加算運賃について

		普通 旅客運賃	通勤定期 (1ヶ月)	通学定期 (1ヶ月)	運賃設定時期
(1) 二俣川～いずみ中央間	6kmまで	20円	430円	210円	1976年4月
	6kmを超え9kmまで	40円	860円	440円	1990年4月
(2) いずみ中央～湘南台間		30円	640円	330円	1999年3月

※上記運賃は2019年10月1日からの運賃

【加算運賃に係る資本費コスト及び回収額】

(単位:百万円)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度まで の累計額
A 設備投資額 74,763						74,763
B 支払利息・配当所要額	1,248	1,152	1,068	989	877	51,442
C 加算運賃収入	547	550	554	560	549	16,019
D 基本運賃収入からの回収額	141	162	165	166	63	4,741
年度末累計額による回収率 ※	14.7%	15.2%	15.6%	16.1%	16.4%	16.4%

※(C+D) / (A+B) × 100

【鉄道事業収支】

(単位:百万円)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
営業 収入	旅客運賃	31,044	31,152	31,397	31,575	31,508
	運輸雑収	1,918	1,894	1,874	1,915	2,161
	計	32,961	33,046	33,270	33,490	33,669
営業 費用	人件費	9,647	9,644	9,491	9,550	9,677
	修繕費	2,128	2,225	2,109	2,047	1,993
	その他経費	6,621	6,419	6,912	6,778	7,597
	諸税	1,261	1,258	1,349	1,378	1,413
	減価償却費	5,780	5,674	5,927	6,149	7,396
	計	25,437	25,220	25,787	25,902	28,076
営業損益		7,524	7,826	7,483	7,588	5,593
営業外収益		150	152	240	237	173
営業外費用		887	923	654	582	554
経常損益		6,788	7,055	7,069	7,243	5,212
法人税等(調整額含む)		2,515	2,509	2,484	2,666	1,951
当期純利益		4,272	4,545	4,585	4,577	3,262
配当所要額		2,450	2,450	2,450	2,450	2,450
最終損益		1,822	2,095	2,135	2,127	812
基本運賃 収入割合	全線	30,496	30,602	30,843	31,015	30,894
	加算区間	2,356	2,364	2,379	2,419	2,410
	比率	7.7%	7.7%	7.7%	7.8%	7.8%

加算区間に係る按分額(鉄道事業最終損益 × 基本運賃収入割合(損失の場合は0))

基本運賃収入からの回収額	141	162	165	166	63
--------------	-----	-----	-----	-----	----

相鉄新横浜線の加算運賃について

相鉄新横浜線につきましては、神奈川東部方面線の一部として、2019年に西谷駅から羽沢横浜国大駅までが開業いたしました。

相鉄新横浜線の建設に伴う多額の設備投資や施設使用料等に充てるため、当該区間をご利用のお客様には開業時より加算運賃をいただいておりますが、開業後間もないこともあり、2019年度決算時点において、開業時設備投資額、施設使用料、支払利息、配当所要額の回収率は1.2%となっております。(下表参照)

	累 計	2019年度
開業時設備投資額(A)	52億円	—
施設使用料、支払利息、配当所要額の累計額(B)	4億円	4億円
加算運賃収入累計額(C)	1億円	1億円
基本運賃収入からの回収累計額(D)	0億円	0億円
回収率(C+D)/(A+B) × 100	1.2%	—

2022年度下期には相鉄・東急直通線の開業を控え、新線建設に伴う設備投資額や施設使用料等は今後も増加する見込みでございます。お客様におかれましては、引き続き、相鉄新横浜線の加算運賃設定について、ご理解を賜りたいと存じます。

以上

相鉄新横浜線の加算運賃について

	普通 旅客運賃	通勤定期 (1ヶ月)	通学定期 (1ヶ月)	運賃設定時期
西谷～羽沢横浜国大間	30円	1,160円	440円	2019年11月

※相鉄新横浜線は2019年11月30日開業

【加算運賃に係る資本費コスト及び回収額】

(単位:百万円)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度まで の累計額
A 設備投資額	5,228					5,228
B 施設使用料・支払利息・配当所要額					430	430
C 加算運賃収入					65	65
D 基本運賃収入からの回収額					4	4
年度末累計額による回収率 ※					1.2%	1.2%

※(C+D) / (A+B) × 100

※相鉄新横浜線は2019年11月30日開業

【鉄道事業収支】

(単位:百万円)

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
営業 収入	旅客運賃					31,508
	運輸雑収					2,161
	計					33,669
営業 費用	人件費					9,677
	修繕費					1,993
	その他経費					7,597
	諸税					1,413
	減価償却費					7,396
	計					28,076
営業損益						5,593
営業外収益						173
営業外費用						554
経常損益						5,212
法人税等(調整額含む)						1,951
当期純利益						3,262
配当所要額						2,450
最終損益						812
基本運賃 収入割合	全線					30,894
	加算区間					142
	比率					0.5%

加算区間に係る按分額(鉄道事業最終損益 × 基本運賃収入割合(損失の場合は0))

基本運賃収入からの回収額					4
--------------	--	--	--	--	---